

寄贈図書リスト

宇宙に「終わり」はあるのか～最新宇宙論が描く、誕生から「10の100乗年」後まで～, 吉田伸夫, 新

書判, 288頁, 980+税, 講談社
目に見える世界は幻想か?～物理学の思考法～, 松原隆彦, 新書判, 288頁, 780円+税, 光文社

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp宛。

なお, 原稿も必ずFaxで0422-31-5487までお送りください。

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

埼玉大学大学院理工学研究科教員

1. 准教授または助教1名
2. (1) 埼玉大学大学院理工学研究科 連携先端研究部門 粒子宇宙科学領域
(2) 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学
3. 高エネルギー宇宙物理学実験分野
4. 担当科目: 理学部物理学科・大学院理工学研究科物理学コースの講義, 演習等。
5. (1) 平成29年10月1日予定, (2) 任期5年 (再任なし)
6. (1) 着任時に博士の学位を有する方
(2) 上記専門分野において, 高い意欲と優れた業績 (研究論文, 受賞など) を有する方
(3) 教育およびコース・学科の運営に熱意があり, 学生の教育・研究指導に十分な語学力 (日本語および英語) を有する方
(4) 国籍, 性別は問いません。なお, 本学は男女共同参画に賛同しています。
(5) 同分野の田代信教授・寺田幸功准教授と協力して研究・教育を進めていただきます。
7. (1) 履歴書 (写真貼付) 1部。受賞歴があれば含

めてください。

- (2) 業績調書1部 (審査付き研究論文, その他の論文, 学会活動, 外部資金獲得状況など)
- (3) 主な研究論文 (5編以内) の別刷またはコピー一式
- (4) これまでの研究概要と今後の抱負 (2,000字程度), 教育に対する抱負 (1,000字程度)
- (5) 応募者について客観的な意見を求めうる2名の方 (指導教員と直属の上司を除く) の氏名, 所属, 職名および連絡先 (住所, 電話番号, e-mailアドレス)
- (6) 本人以外による推薦書1通。推薦者により厳封のうえ, ほかの提出書類と同封のこと。
8. 平成29年4月27日(木) 必着 (持参または郵送に限る)
9. (1) 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学大学院理工学研究科物質科学部門物理学コース長 佐藤一彦
(2) 埼玉大学大学院理工学研究科物質科学部門物理学コース 寺田幸功
TEL: 048-858-3365, FAX: 048-858-3365,
e-mail: terada@phy.saitama-u.ac.jp
10. 履歴書及び業績調書の様式については <http://www.saitama-u.ac.jp/recruit/index.html> よりダウンロードしてください。
郵送の場合は, 封筒表面に「教員応募書類在中 (物理・准教授/助教)」と朱書きして, 簡易書留で郵送してください。応募書類は原則として返却しません。
11. 書類選考の後, 面接とセミナーで選考します。(面接時の交通費は支給いたしません)
給与・手当等: 本学支給基準に基づき支給
採用者には, 研究環境整備のための交付金 (定額) を配分します。

宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授

1. 女性教授（教育職）1名
2. (1) 5研究系（宇宙物理学，太陽系科学，宇宙飛翔工学，宇宙機応用工学，学際科学）のいずれか。(2) 相模原キャンパス
3. 大気の上層部あるいは大気外に出ることで実現可能となる科学研究領域，および，そのような研究活動を可能とするための研究。したがって，宇宙空間に出ることで可能となる理学的研究・工学的研究，さらにこれらを可能とするための地上研究を含む総合的な研究などが含まれます。
4. 宇宙科学およびその周辺領域において優れた研究成果を有し，それを踏まえて，宇宙科学に関する学術研究に優れた成果を創出していただき，さらに宇宙科学研究の重要な実現手段である宇宙科学プロジェクトにもさまざまな形でかかわり，指導的な役割を果たしていただける方を求めます。候補者が希望する分野が，本研究所において既存分野である必要はなく，それを展開することが宇宙科学研究所に新しい地平線をもたらす状況も歓迎します。さらに，当研究所の大学共同利用の役割を理解し大学等の研究者と協調して研究を遂行するとともに，これまでの十分な大学院生の教育指導経験を生かして，引き続き大学院生の教育・指導にも熱心に取り組んでいただける方を求めます。またJAXA内の各種活動に積極的に参加し，専門研究能力を生かして研究開発やプロジェクトに貢献できる意欲あふれる人材を求めます。
5. (1) 決定後できるだけ早い時期。ただし，機構の予算状況により，本人との調整を要する場合があります。(2) 任期なし。63歳定年制。
6. 博士号を有する女性研究者
7. (1) 履歴書，(2) 研究歴，(3) これまでの研究概要，(4) 論文リスト，(5) 今後の研究計画（プロジェクトへの貢献と教育活動についての抱負を含む），(6) 外部研究資金獲得実績（外部資金の種類別，金額，研究代表／分担を明記すること），(7) 他薦の場合は推薦書を提出することのできる方2名，自薦の場合は本人について意見を述べることのできる方2名の氏名と所属，連絡先（電話番号，電子メールアドレス），(8) 主要論文（査読付き学術誌に掲載されたものに限る）の別刷5編以内
8. 2017年6月30日(金) 9時30分（日本時間）必着
9. (1) 下記Webサイトから電子的方法により提出。
<https://isas-appli-form.jaxa.jp/forms1/1487822741>

提出にあたっては，上記webサイト上の指示に従うこと。uploadするファイルはすべてpdf形式とし，提出書類（2）から（6）は一つのpdfにまとめること。他薦の場合，推薦者にて直接，推薦書をwebサイトにuploadしていただく（入力いただいた推薦者のメールアドレス宛に依頼メールが自動送付される）。(2) 研究総主幹，満田和久。Tel: 050-3362-3621, e-mail: mitsuda.kazuhisa@jaxa.jp. ただし，提出方法「9(1)」に関する問い合わせ先：科学推進部人事担当，Tel: 050-3362-2695, e-mail: isas-jinji@ml.jaxa.jp.

10. 郵送または持参での提出は，原則として不可。
11. 今回の公募は，男女共同参画をさらに推進するポジティブアクションとして行うものです。選考に伴い発生する交通費・宿泊費については自己負担になります。選考は宇宙科学研究所宇宙科学運営協議会にて行います。

人事公募結果

東北大学大学院理学研究科天文学専攻教授 (2名)

1. 2016年7月号（第109巻第7号）
2. 秋山正幸（東北大学大学院理学研究科天文学専攻准教授）
3. 2017年4月1日
1. 2016年7月号（第109巻第7号）
2. 児玉忠恭（国立天文台光赤外研究部准教授）
3. 2017年5月1日

名古屋大学大学院理学研究科准教授

1. 2016年8月号（第109巻第8号）
2. 田村陽一（東大天文センター助教）
3. 2017年4月1日

研究会・集案案内

茨城大学宇宙科学教育研究センター／ 国立天文台水沢 VLBI 観測所茨城観測局 第8回【公開天文台】のお知らせ

日立市と高萩市にまたがってある32mパラボラアンテナ2基は，衛星通信アンテナから電波望遠鏡への

アップグレードがなされ、日本・東アジア VLBI の主要施設として、国際的にも優れた天文学研究の成果を上げています。

子どもたちを含め、多くの地域のみなさんに、宇宙の科学に親しんでいただきたいと思います。今年度も公開天文台を開催することとなりました。

日時：2017年4月16日(日) 11～15時（雨天決行）

場所：茨城県高萩市石滝627-1

（さくら宇宙公園内）

茨城大学 宇宙科学教育研究センター

国立天文台 水沢 VLBI 観測所茨城観測局

主催：茨城大学

共催：国立天文台

後援：高萩市教育委員会、高萩市観光協会、日立市教育委員会、日立市観光協会

協賛：茨城県北ジオパーク推進協議会

内容：パラボラアンテナ施設見学、4次元シアター、講演「電波で探る星の誕生と生命の起源」（廣田朋也 [国立天文台水沢 VLBI 観測所 助教]）（13:30-15:00）

受付：施設見学は開催時間中随時受付。講演会は先着100名13:00より受付。

参加料：無料

アクセス：

[1] 鉄道：JR常磐線高萩駅下車

(1) 会場まで徒歩 約30分

(2) バス利用：高萩駅発いぶき台団地行、明秀学園高萩キャンパス前（約8分）下車、徒歩約10分

[2] 乗用車：常磐自動車道 高萩インターもしくは日立北インターより高萩市街方面約15分9km、明秀学園高萩キャンパス前を山側住宅街に曲がり600m先

駐車場：無料 普通車約300台駐車可

注意：アンテナ見学は動きやすい服装、靴で参加ください。

問合せ：茨城大学宇宙科学教育研究センター

〒318-0022 茨城県高萩市石滝627-1

Tel: 0293-24-9516

Fax: 0293-24-9517

メールアドレス: infoast@ml.ibaraki.ac.jp

URL: <http://www.asec.ibaraki.ac.jp/>

国立天文台野辺山宇宙電波観測所 「電波天文観測実習」の参加者募集

国立天文台野辺山宇宙電波観測所では、45 m電波

望遠鏡を使った「電波天文観測実習」を行います（総合研究大学院大学「夏の体験入学」）。当観測所は、45 m望遠鏡を用いて多数の星間分子の発見、原始惑星系ガス円盤の検出、銀河中心にある巨大質量ブラックホールの発見など数多くの重要な研究成果を上げています。この「電波天文観測実習」は、45 m電波望遠鏡だけでなく、国立天文台チリ観測所が観測を開始したアルマ望遠鏡を使った最先端研究に携わる研究者の指導のもと、天文学に関心をもつ大学生の皆さんに研究の最前線で活躍中の45 m望遠鏡を使った観測実習を通して、電波天文学の実際に触れていただくのがねらいです。参加者には普段研究者が行っている45 m望遠鏡の操作、データ取得・解析、結果のまとめをしていただきます。特に専門知識は必要ありませんが、大学で物理実験を経験していることが望ましいです。関心をおもちの多くの方のご応募をお待ちしています。

1. 開催日程：2017年6月5日(月) 13:30～6月9日(金) 11:30（4泊5日）

2. 場所：国立天文台野辺山宇宙電波観測所（JR小海線野辺山駅から徒歩40分）

3. 定員：8名程度

4. 対象：大学の理科系学部（教育学部の理科系も含む）に属する学生（1～4年生）

5. 費用：旅費・滞在費がサポートされる可能性があります

6. 応募方法：住所、氏名（ふりがな）、所属大学および学部・学科、学年、生年月日、年齢、性別、電話番号、E-mailアドレス（もっている場合）を明記のうえ、以下の(1)～(4)に回答し、4月17日(月)必着で下記の応募先まで送付してください。なお、送付された資料は返送いたしません。

(1) 大学で物理実験の経験がありますか？

(2) (1)で「はい」と回答された場合、一番印象に残った実験は何ですか？ どのよう点で印象に残ったのですか？

(3) あなたがもっている天文学への想い・イメージについて何でも結構ですのでお書きください（600字以内）。

(4) 実習に参加希望の理由は何ですか？（600字以内）。

7. 選考結果：5月初旬頃、郵便で発送 6.の住所以外への発送を希望する場合は発送先を明記のこと。

8. 応募先・お問合せ先

〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山462-2

国立天文台野辺山宇宙電波観測所「観測実習係」

※封筒には「観測実習応募書類在中」と朱書して

ください。

TEL: 0267-98-4332

ウェブサイト <http://www.nro.nao.ac.jp/~nro45mrt/misc/45school.html>

会務案内

公益社団法人日本天文学会

2017年度(2017年4月1日～2018年3月31日) 事業計画書と予算書

2017年1月8日(日)に開催された代議員総会で2017年度の事業計画書と予算書が承認されましたのでお知らせいたします。事業計画書と予算書は电子版で天文学会ホームページ上(<http://www.asj.or.jp>)で公開しております。書面による配布を希望される方には別途郵送いたしますので、学会事務所までご連絡ください。

公益社団法人日本天文学会2017年度事業計画書の概要

事業計画はおおむね例年どおりで、欧文研究報告、天文月報、年会予稿集、ジュニアセッション予稿集の刊行、各種委員会活動、全国同時七夕講演会、各賞の授与、助成金、後援事業に関する事業を行う予定です。

2017年度はこれらの定常的事業に加えて「シリーズ現代の天文学」英語版および日本語改訂版の刊行も予定しています。

また、2017年度は代議員選挙(2018～2019年度の2年任期)を行います。

公益社団法人日本天文学会2017年度予算書の概要

2015年度から暫定的に値下げしていました正会員

(学生)の年会費は「会費に関する細則」を改正し2017年度以降10,000円とすることになりました。また正会員の年会費も2017年度は暫定的に15,000円に値下げされます。このため会費収益が若干減少しています。

経常費用については、定常的費用に加えて、事業計画に基づき「シリーズ現代の天文学作成経費」、「学会ホームページ新規作成のため広報活動経費」などを計上し、その分増加しています。月報事業では収支改善が見込まれていますが、年会事業では秋季・春季年会の会場費増加が見込まれ大きく費用増加となっています。欧文事業は収支改善が続き収益が費用より多くなっています。

2017年度予算は全体として費用が収益を大幅に上回っていますが、公益社団法人として保有上限額が定められている遊休財産額を適正額に維持することも念頭に置いた事業計画に基づく予算となっています。

(文責庶務理事: 山下卓也, 会計理事: 柴田克典)

訂正

天文月報2017年3月号(第110巻第3号)の書評『重力波は歌う アインシュタイン最後の宿題に挑んだ科学者たち』の中で、定価及びページ数に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

誤) 定価6,500円+税 539頁

正) 定価1,600円+税 296頁

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード(5桁の数字と)vol98(5文字)の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光(編集長), 上野悟, 大栗真宗, 奥村真一郎, 富永望, 萩原喜昭, 馬場彩, 平松正顕, 町田正博, 諸隈智貴, 吉田二美

平成29年3月20日

発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行

印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359(事務所)/0422-31-5488(月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2017年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)